

八ヶ岳 本沢温泉 & 硫黄岳

【日程】2019.2.11～12

【メンバー】GL 大木裕見子 SL 澤田淳子 渡辺純子

金 令姫（記録）



2/11~12の3連休に八ヶ岳の本沢温泉に行ってきました。🏠🏠🏠🏠🏠

一応、硫黄岳に登頂の予定もありつつも、個人的な本命は実は初めて行く本沢温泉。今年の冬の目標はズバリ厳寒期テント泊に挑戦と勝手に掲げていましたが、今年に入りほぼテント泊ばかりという有難い状況のおかげでだいぶ慣れてきて、ようやく多少勝手がわかってきた感じです。

一人東京の端からやってくる私は始発で出発し、津田沼で合流。ほどなく高速にのり順調に車は一路、稲子湯へ。

土曜日の降雪を避け、中日の日曜日の昼のせいか、みどり池の駐車場は車でいっぱいになっており、路肩にも駐車しているので、稲子湯まで行ったがここもほぼ満車。どうにか邪魔にならない場所を見つけ駐車する。

支度をし始めるが、自分が持つテントの本体の大きさにびっくり。う、重さより思いの他嵩張る本体を無理やりザックの上部に詰め込む。共同装備って何もかもがデカイ。前回の蓼科山の時もコッヘルが予想外に大きくて無理やり入れ込んだなあ。

そんなこんなでまずはコーヒーを楽しみにしらびそ小屋まで登っていく。

気温は-5度、小雪がちらつく中だが、太陽の光がさしているので、雪が時々ダイヤモンドダストみたいにキラキラ輝いて見える。



よく見ると積もった雪も綺麗な雪の結晶が降り積もっているの、細かなラメが敷き詰められているように見えて、それを眺めて登りの苦しみ(?)を誤魔化すのであった。

コーヒーブレイクの後にいそいそと本沢温泉に向かう。何せスタートは12時過ぎであったから、のんびりしていると日が暮れてしまう(笑)

幸いにも日が暮れる前に到着しサッサと物件を見つけテントを設営。ひとりで設営すると一仕事だが、みんなでやると早いなのって手を出す間もないほど早く終わってしまう。この本沢温泉の石楠花の湯はなんと冬季限定だそう。寒さで内湯まで湯を引っ張れないので、源泉に近い方の石楠花の湯になるという話を聞き、今度はまた違う季節に来たいと思うのであった。温泉の湯船は10人も入れれば見事な芋洗いとなり、大混雑であった。

ホカホカ温泉の後は食事と宴会となるが、なんとといっても私以外の皆さんの手際の良さに惚れ惚れするのであった。ナイフを手にしたもののどう切っていいか悩む横で迷うことなく肉と野菜がかっさばかれてゆく。

初めて食べるいろんな芋の入ったクリームシチューは、ほっこりした芋が芋好きには堪らない美味しさでした。

翌日 起きて外を見ると曇り空だったが、あわよくば晴れることを期待しながら、本沢温泉を出発。途中、露天風呂に向かう分岐でたつぷりと硫黄の香りにつつまれる。やはり硫黄の香りを嗅ぐと温泉卵を食べたくなる。

夏沢峠までの樹林を時々ショートカットしながら進み、休憩後いよいよ硫黄岳の暴風の洗礼エリアに突入する。実は個人的に過去に夏1回、冬に2回来ているが晴れたことがない。冬は2回とも曇天の暴風雪。これはまたしても雨女ならぬ吹雪を呼ぶ雪女のパワーが遺憾なく発揮されてしまったようである。

地面の雪は風に飛ばされてしまうのか、積もっているというより凍った地面を歩いている感じだ。登れば登るほど雲の中に入っていくような状態である。

ケルンが見えた頃、我々は潔く撤退を決めた。天気も悪い中無理して登っても山頂でのパノラマビューのご褒美もない。ただの苦行である(苦笑)

また来る理由ができたと思いながら下山開始。森林限界手前にて少しだけ晴れ間となり、展望が開ける。きっと硫黄岳の神様が我々を憐れんでくれたのであろう。

本沢温泉に帰る途中、かの有名な雲上の露天風呂の見学に行ってみた。流石に入浴する気力はなく手だけでもお湯に入れてみた。確かにぬるい。イキがって温泉に入ろうものなら、温度差でポッキリ往くこと請け合いである。

テント場に戻るとバリバリに凍ったテントを撤収。冬は結露との戦いである。煮炊きした水蒸気が結露し夜明けには真っ白に凍りつく。よくこんな寒い所にいれるなど自分でも毎回疑問に思う瞬間である。

帰りは全ての荷物が湿気っぽいというか水分を含んで、ザックの重みが増すような気がする。食材が減ってる分軽くなるはずが行きも帰りも同じような容量になってるのは、単にパッキングが下手なのかもしれない。

下山後は稲子湯で汗を流す。何気に温泉マニアにウケそうなコースだなとふと思う。本沢温泉で2種類、稲子湯と全部泉質が違う。一泊二日で3種の泉質を堪能というわけである。

色々盛りだくさん楽しみたい女子旅にぴったりな本沢温泉の旅でした。

今回、リーダーとなってくださったOさん。車の運転から食事まで本当にお世話になりました

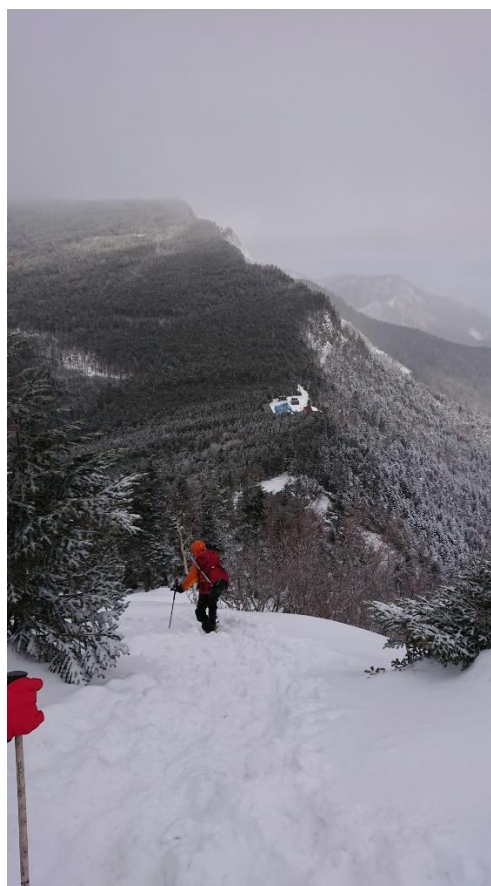
た。S姉妹のJさん、Mさんに、初めてご一緒したWさん、有難うございました。

余談ですが、一人東京に帰るのでいろいろな帰り道を試しております。

中央道は藤野PA下車→中央線で帰京しておりましたが、この度たまたま石川PAから帰りました所、意外に便利なおことに気づきました。

高速道路よりドロップアウトして帰る方法を目下研究中です。

これから皆様と山行をご一緒する際はお手数をおかけいたしますが、テキトーな所で投下してください(笑)。よろしくお願いたします。[金]



終わり。